

2017年6月20日付
中建日報

「塗装技能者育成を」 講習会に会員40人参加 ＝広島県鉄構工業会＝

協同組合広島県鉄構工業会（山本泰徳理事長）は13日、広島市中区のRCC文化センターで鉄骨塗装の基礎知識を習得するための講習会を開いた。会員企業から40人が参加し、塗装技能者の育成に必要な取り組みなどを学んだ。



講習会のもよう

と呼びかけ、塗り直しという一番のコスト削減にもつながると伝えた。そのほかに、塗料の管理方法や作業時の注意事項についても説明があり、受講者は真剣に耳を傾けていた。

りと取り組んでいただきたい」とあいさつ。講師は広島国際学院大学工学部の山崎勝弘准教授が担当。塗装技能者が不足していることに触れ、「若者の離職が多く、外国人の受け入れが急増している。教育体制が整っていないこともあり、塗り直しによるコスト増加や塗膜欠陥のクレームも出てい」と指摘。対応策として、▽技能検定制度の活用▽作業の標準化▽社員

の士気を高めコスト削減▽レベルの高い塗装工場などを示した。その中で、山崎氏は「作業に必要な要点を文書化し、徹底させること。技能や成果に応じて、作業者に職能手当を反映させることも大切だ」と述べた。また、工場内の整理・整頓・清掃について「事故や災害を防ぐことができるなど、さまざまなメリットがある。重要なことだと認識してほしい」と